



府中国際交流サロン
FUCHU INTERNATIONAL SALON

くろするろ〜ど

2022/11月号 第276号

ふちゅうこくさいこうりゅう
府中国際交流サロンは、府中に住む
にほんじん がいこくじん なかよ たす あ
日本人と外国人が、仲良く助け合っ
たの せいかつ ねが かつどう
楽しく生活していくことを願って、活動を
つづ 続けています。

かい ほう し
会報誌

★★★★★crossroad★★★★★crossroad★★★★★

★★★★★crossroad★★★★★crossroad★★★★★



げっかん がつ
〜サロン月間カレンダー11月〜

いっしょ
「ひさしぶり！みんなで一緒にBBQ」

■定例日本語学習会

日時：11月2日（水）～11月30日（水）
月（午前・午後）水（午後）金（午後・夜）
場所：サロン3階 会議室

■実行委員会～移転準備委員会

日時：11月9日（水）午前10時～昼12時
場所：サロン学習室

■日本語教授法研修Ⅱ

日時：11月10日（木）午前10時～昼12時
場所：サロン学習室
講師：山田しげみ先生
（東京外大オープンアカデミー講師）

■在留資格講習会

日時：11月5日（土）午後2時～4時
場所：サロン学習室
講師：桑島宗利さん（生活情報支援部会）

■国際ふれあい会～私のふるさとを語る

*詳しいことは「みんなの広場」をご覧ください。

■文化交流部会フラダンス教室

日時：11月の毎水曜日・午後1時～3時
場所：サロン託児室（23日は休み）

*以上の件について、詳しいことはサロン事務局で
聞いてください。

金曜午後ボランティア 安島 文江

10月22日（土）多摩川河川敷の郷土の森バーベキュー
場で4年ぶりのバーベキューの集いが行われました。

当日は暑くもなく、寒くもなく、絶好の“バーベ
キュー日和”。参加人数45名（うち子供10名）、外国人
の家族も大勢参加され、みなさん和気あいあい、楽し
い楽しいひとときを過ごしました。

普段はあまり話す機会のない他のクラスの人たち
や久しぶりに会うことができた人たちと「これを焼
きましょう」とか「もう混ぜてもいいかな」とか話し
ながらすぐにうちとけ、6台のコンロを囲みながら、
ワイワイ・ガヤガヤ・・・まさに“国際交流”が実現
しました。

やっぱりバーベキューの醍醐味はモクモクと煙
が立ち昇る中、豪快に焼き上げていく肉・魚・野菜・
焼き芋そして焼きそば！自分の家では味わえないお
いしさ!!多摩川を眺
めながら、開放され
た空間でみんな笑
顔いっぱい協
力し合っ
て作った
バーベキューの
合作、おいしくない
わけがありません
ね。

いつのまにか一
体感がうまれ、最後



に全員で記念写真。あつという間の素晴らしい時間
 でした。みなさんが「本当に楽しかった」「また是非
 参加したい」と満足して帰られました。



準備にあたっては、朝早くからの場所取りや
 食材・飲み物の買い出し・運搬など、スタッフのみ
 なさん、ほんとうにお疲れさまでした。ありがとう
 ございました。



世界の文化

「運命の町 Where I call home ～ポーランド人女性が見た府中～」 ～第1回～

府中国際交流サロンで学習していたポーランド
 のアニカ ゴデックさん（現在、NPO法人府中観光
 協会所属）が、9月4日（日）に開催された第29回
 「府中市生涯学習フェスティバル 2022」の特別
 講演会で、府中市の魅力について話されました。そ
 のスピーチを、今月と来月の2回に分けてご紹介し
 ます。

皆さん、初めまして。アニカ ゴデックと申します。
 ポーランド出身で、35歳です。中学生の3年生の頃
 から日本に興味を持って、2012年に25歳の時、初め
 て日本に来ました。

田舎で育った、中学生の頃、当時懂れていた4歳
 上の先輩が韓国語を勉強しているのを知り、インタ
 ーネットでアジアの言葉を調べました。色々なアジ
 アの言葉の中から1つだけ無料レッスンを受けられ
 るサイトがありました。直感でクリックして選択し
 たのが、日本語でした。なぜなのか、自分でもよく分
 かりません。もし違う言葉を選んでいたら、今、わ
 たしはここにいないですね。

ポーランドの大学の修士課程で英語教育方法論
 を勉強し、その間日本語も3年間勉強しました。卒
 業前にギャップイヤーを取った私は、2012年神戸の
 幼稚園でインターンシップとして英語を教えること
 になりました。ギャップイヤーというのは、卒業す
 る前に休学して、働く経験をすることです。神戸で
 は半年間保育園や幼稚園、小学校などで働きまし
 た。今でも神戸に行く時は、幼稚園に行き、園長先生
 にお会いします。この経験は私にとってとても貴重
 なものでした。

インターンシップの後、観光ビザに変更した私
 は、半年間のあいだボランティアをしながら、北海道

から、九州まで日本全国を旅しました。『有機農場で働きたい』という名前の世界的NPO団体があります。そこに参加して、全国の農家さんのお手伝いをしながら食事と宿泊を提供してもらいました。日本で1年間過ごした後、予定通りポーランドに帰国しました。

すっかり日本がだいすきになった私は、日本にワーキングホリデービザを申請することを決意しました。その後、日本に来るお金を貯めるために4年間ポーランドで一生懸命仕事をしました。しかし、かなしいことに4年の間にせつかく覚えた日本語をすっかり忘れてしまいました。でも、どうしても日本への思いが断ちきれず、周りの反対を振り切って、日本に戻る決心をしました。

ついに、2017年9月に2回目の日本に来ました。しかし、外国語講師派遣事業をする会社で採用されるまでいろいろなことがありました。2017年11月府中の公立小学校・中学校で外国語指導助手として働くことが決まったときは本当にうれしかったです。朝8時20分から4時20分まで、週5日、1日約5～6レッスン、残業なしで働きました。最初の日には最初の文化の違いに気付きました。朝の打ち合わせです！ポーランドでは、教師は毎日自分のレッスンのスケジュールの前に学校に来ます。教師はみんな、それぞれスケジュールが違います。学校からのお知らせは、ホワイトボードで確認します。授業が終わったら、先生も家に帰ります。生徒の学校生活についてポーランドと比べると、日本の場合は塾や部活動などでとっても詰まっているとかんじます。また、日本の学校には用務員さんがいません。生徒と先生が学校を綺麗にします。これは素晴らしいチームビルディング活動であり、生徒との絆を築くと思いました。

はじめわたしは浅草に住んでいたのですが、府中に通っているうちに、ここで暮らしたい！と思うようになりました。府中には都会と自然の両方があります。

さらに、私にとって嬉しかったのは、府中国際交流サロンに参加できたことです。日本人は他の国

よりもボランティアをする人が多いのに驚きました。すぐに、たくさんのお友達ができました。外国語や、文化、経験の相互交換に基づく美しいコミュニティだと思いました。

ある日、私の会社から府中ではない別の学校に行くように言われました。府中ではフルタイムでは雇えないからと言われました。どうしても府中にいたかった私は、残りの時間のパートタイムジョブを探すことにしました。(次号に続く)



しん

新ボラさん こんにちは！

「“若葉マーク”のボランティア」

月曜午後ボランティア 矢ヶ部 富美子

初めまして。矢ヶ部富美子と申します。日本語教授法初級I研修を終えました。講師の山田しげみ先生が日本語は世界中の言葉の中でかなり難しい言語と話していらっしゃいました。自分の出来の悪さをそのせいだろうと変に納得してしまいました。

私の楽しみは山歩きです。自然の中に身を置くと心身が安定します。この10年、母の介護で年に一度の夏山縦走は出来ませんでした。でも高尾山にはよく出かけました。今でも月に1、2回は登ります。

信仰心は全くありませんが、山登りの延長？それとも放浪癖があるのかもしれませんが。四国88ヶ所、距離にして1200kmを歩いて3回巡りました。四国の人はとても優しいです。農産物、海産物が豊富で気候も温暖で生活しやすいのが優しさの元だとガイドブックにありました。四国遍路をスタンプラリーと言っていた姉妹、お寺の長男として産まれ僧侶になるべきか悩んでいた大学生、お接待という道中での“頂き物”も数知れず、多くの一期一会で様々な体験が出来、四国遍路は私の貴重な財産です。ここサロンでの出会いも楽しみです。

「日本語が奥深く難しいものと実感」

月曜午前ボランティア 杉 奈美

若い頃、海外旅行し言葉が通じなくて不安だった時、現地で知り合った人が助けてくれたり、コミュニケーションにより旅行が楽しくできたのを今でも覚えています。

そのため、府中市のイベントで府中国際交流サロンの活動を知り、府中広報でボランティア講習の募集を知った時は、いつか参加したいと、ずっと思っていました。

昨年、丁度時間がとれ、同時に広報で募集を見たときには、今だ!! と思い応募しました。が、残念なことにコロナ禍により延期になりました。今年再開される連絡がきた時は、とても嬉しかったです。

実際に講習を受けると、今まで何も考えず話してきた日本語がとても奥深く難しいものと実感し、はじめは不安になりました。しかし先生の講習がとても分かりやすく、他の皆さんも明るく熱心で、グループの皆さんと一緒に考えていくことができ、楽しく無事に終えることができました。ありがとうございました。

これから旅行とは違い、日本で生活する学習者の方が言葉の壁で不安や寂しさ無く楽しく生活できるよう、お手伝いできればと思っています。

学習者の方に分かりやすく教えられるよう日本語を改めて勉強し、先輩方に色々と教わりながら励みたいのです。

最後に趣味は映画・ドラマ鑑賞、中国語会話学習、散歩、庭いじり等です。

どうぞよろしくお願いいたします。

「目標は日本を好きになってもらうこと」

月曜午後ボランティア 奥井 直彦

日本語教授法研修Ⅰを終えて、9月からボランティア活動として日本語を教えることになりました

奥井直彦です。

日本の企業で3年、2つのアメリカの企業で約40年働いていました。赴任はありませんでしたが、海外出張は100回以上色々な国に行きました。また、会社の中でもアジア人、欧米人など約20ヶ国の人と共に働き、異文化コミュニケーションの難しさ、楽しさを経験してきました。

また、個人的には50近くの国々を訪れ、それぞれの国の文化の違い、価値観の違いを経験してきました。それらの経験を活かしながら日本語を教えることができたいと思っています。

日本語を教えるのは全く初めてなので不安はありますが、先生と生徒との壁を越えて楽しく教えることができたいと思っています。目標は日本を好きになってもらうことです。

「実践的知識を授業に活かしたい」

月曜午前ボランティア 岩村 昭夫

こんにちは！わたしの名前は岩村昭夫です。今年の4月から月曜日午前のクラスで日本語を教えています。よろしく願います。趣味は音楽です。楽器はギターを弾いています。BEATLES や ROLLING STONES が好きです。クラシックギターも勉強しています。

日本語教師の資格は持っていますが、もう一度『みんなの日本語』を勉強しようと思い「日本語教授法研修会」に参加しました。学習会では学習者とのインタラクションや発話の引き出しかなど実践的知識を教えていただきました。ぜひ授業に活かしたいと思っています。

後期は音声学や在留資格の研修もあり、楽しみにしています。国際交流サロンでは、いろんな国の、一人ひとり異なるニーズの学習者とぶっつけ本番で向き合うことで戸惑いもありますが、とても勉強にもなります。少しでも府中在住の外国につながる人たちが日本で暮らしやすくなるようにがんばりたいと思っています。



皆さんよろしく◇学習者紹介

オゴチュクウ カリスタ イベアヌセさん
(ナイジェリア)



「11月末に第一子出産の予定です」

サロンでは、姓も名前も発音しにくいので、ミドルネームの「カリスタさん」と呼んでいます。

今年の2月ナイジェリアのエヌグ州から、ご主人の勤務先の日本にやってきました。ご主人は日本で大学、大学院を卒業して、東京の会社に就職していました。

高校生の頃、学校は違っていました。家が近かった彼と知り合い、2020年に結婚しました。それまでカリスタさんは大学で英語を専攻して、卒業後は高校の先生をしたり、衣類の商売をしたりしていました。離れている間は、Facebookなどで、連絡を取り合っていました。

来日して最初の印象は「寒い」と思ったことです。2月でしたので、ナイジェリアにはない寒さで驚き、夏には、湿度のおい高温に驚いたとのこと。

趣味はクッキングと歌をうたうこと。アフリカの食材は、新大久保や埼玉まで買いに行き料理を作ります。

サロンには今年の9月から来ていて、月曜午前、月曜午後、水曜午後、金曜夜と週4回勉強しています。

将来は、子供4人位いる大家族を望んでおり、最初のお子さんが、この11月末に生まれる予定です。すでに女の子とわかっていて、とても楽しみにしています。
(取材・文構成 堤 林)

こんな教え方しています

～ 6 ～

「ひらがなが嫌ならローマ字から」

水曜ボランティア 末田 圭治

ボランティアになりたてのころ、仕事で日本に短期間、滞在する方で、日本語の会話ができるようになりたいという学習者を担当しました。会話を教えるためには会話文を読む必要があるのですが、ひらがなを教えることにしました。しかし、他のボランティアさんから、ひらがなの学習は、ニーズに沿っていないとの指摘を受けました。

たしかに、そのときの学習者は、ひらがなの学習は楽しそうではなく、期待していた学習(ニーズ)と合っていなかったのだと思います。逆に、職場で覚えたあいさつの言葉「お先に失礼します」を楽しそうに話して意味を教えてほしいと言っていました。

このことから学習者が学びたい日本語は何なのかを把握して、それに沿った学習方法で楽しく学んでいくことの必要性を学習者から学びました。「学習者こそ、日本語教育のあり方を教えてくれる教師」とのベテラン教師の言葉を思い出します。

しかし、ひらがなを教えずに会話を教える教材はあるでしょうか。最近、日本語を話せるようになりたい、ひらがななどの日本語の文字は勉強したくないという学習者が来ました。そこで見つけた教材が『みんなの日本語 初級I ローマ字版』です。これだと、ひらがなの学習はなくても、ローマ字で会話を学ぶことができます。でも、ボランティアは、日本語版を見ながらの方が疲れないと思いますが、どうでしょうか。



勉強会報告

～第101回～

「新ボラさん、ようこそ！ ～意見交換と 学習者に合った教材紹介」

研修部会 萱生 由美子

9月から各学習部会で活動を始めた新ボランティアの皆さんをお迎えして、10月19日に勉強会を開きました。参加者は11名でした。連絡に一部手違いがあり、参加者が少なかったのは残念でしたが、皆さんの御意見をゆっくり聞くことができたのはとても良かったです。

以下は皆さんからの感想、意見です。

- ★「研修Ⅰ」はスタートの頃よく分からなかったが、「Ⅱ」になって少し慣れたと思う。
- ★しばらく見学してから教えるつもりでいたのに、学習者の急増でいきなり担当になり困ってしまっただ。今は先輩達からアドバイスをもらっている。
- ★相手のレベルチェックの仕方が分からない。
- ★5回ほど体験したが、ほとんど日本語が話せる人だった。
- ★自分が経験した英語の勉強方法は、文法は文法として学んだのだが、日本語教育の文法の教え方、学び方は違うのだということに気付いた。
- ★研修も学習会も、自分にとって日本語を学び直している実感がある。
- ★初めての担当で意気込んで行ったら、次週から学習者が来なくなった。
- ★見学中で、未だ一人で教えたことがない。
- ★研修は、全般的にきちんと教えられたという印象だが、ここが大事というポイントなど、強弱をつけて教えて欲しかった。
- ★滞在期間がまだはっきりしないせいか、文字は不要、会話だけローマ字書きで教えて欲しいという人にどう教えたら良いか。

この意見への回答→その人が長期に滞在するのなら、ひらがな、カタカナは勉強した方がよく、

その方が会話力も定着する。短期なら文字は勉強しなくても良いが、同じような境遇の人で、楽しく教材を読みながら、ひらがなを少しずつ学び始めた人もいます。楽しく学ぶことが先ず大切なのでは。

- ★研修では学習者がつまづきやすいポイントなどを教えて欲しい。
- ★今の学習者には毎回自分で一つのテーマ（教材）を準備するようにしている。

後半は、学習者の滞在年数に応じた教材が紹介されました。（詳しくは、書棚の右端に一覧表が下げてありますのでご覧ください。）

この2年間のコロナの逆境にもめげず、研修を頑張ってきて来られた新ボランティアの皆さんのこれからのご活躍を期待しております。



ことばの由来

「人体編 首」

今年の大河ドラマ『鎌倉殿の13人』ご覧になっている方も多いとおもいます。

殺した武将の首を切り落として首桶の中に入れてもってきて見せる「首実検」のシーンが何回もありました。

現代では、こうしたことはありませんが、昔は戦いの度に行われていました。



首は人間にとって大事な場所、日本でも西洋でも、首をきることで罪人を処刑してきました。その言葉から、実際に首を切るのではなく、仕事に

失敗した時とか、不都合なことがあった時、会社は社員の「首をきる」つまり辞めさせる。本人からすると「首になる」という言葉がつかわれます。

また、借金などをしてどうにもならなくなった時は、「首がまわらない」というような表現をします。

「首を長くして」待つというのは、待っている人が、なかなかこないとき、早くこないかなーと、こちらから来るのか、あちらから来るのかと、見まわし、首がどんどん長くなる感じを表しています。

また、何にでも「首を突っ込む」とは、必要のないことにまで入り込んで、嫌がられるような人に使います。
(編集部 堤 林)

みんなの広場

「サロンの移転日が決まりました」

来年4月からサロンの活動場所が、中河原駅前にある「フチュール」に変わりますが、その移転日が2023年3月12日（日）に決まりました。

現在、移転準備委員会を中心に引っ越し作業を着々と進めていますが、移転日当日、引越し業者により、倉庫や事務局にある什器類、書類、テキスト等を、現在のサロンから搬出し、フチュールへ搬入します。詳しいことは、学習会を通して皆さまにお知らせしますが、是非、皆さまのご協力をよろしく願います。
(実行委員会)

「国際ふれあい会のお知らせ」

恒例の「国際ふれあい会～私のふるさとを語る」を今年も開催します。6名(予定)の学習者の方々が、自国の文化、歴史、観光などの魅力を語ってくれます。多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

日時：11月19日（土）午後1時～4時

場所：サロン3階 会議室（日本語学習の部屋）

発表者：

ロウ ショーン マシュー（イギリス）

ロズベ グラム レザ（アフガニスタン）

ラティ マドヤ セプティアナ（インドネシア）

シュナイダレイト レベッカ アイリーン（カナダ）

ハイトワ ニゴラ（タジキスタン）

ティリ コ（ミャンマー） 敬称略

申し込み方法：事務局の参加申し込み用紙に名前を記入してください。

*詳しいことは、サロン事務局にお問い合わせください。
(実行委員会)



今回は、『みんなの日本語Ⅱ』標準問題集の第49課（敬語）からの出題です。日ごろの学習の成果を試してみましょう。

■問題

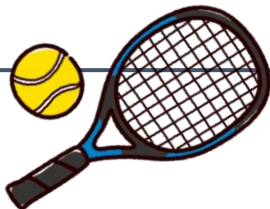
例のように、_____のところに、適切な言葉を入れてください。

例：あの部屋にだれかいますか。

…はい、社長がいらっしやいます。

- 1) 社長、昼ごはんは_____か。
…ええ、もう食べました。
- 2) だれがカタログを届けろと言ったんですか。
…部長が_____んです。
- 3) あの留学生の名前を_____か。
…いいえ、知りません。
- 4) だれがこのチョコレートをくれたんですか。
…ハンス君のお母様が_____んです。
- 5) 何かスポーツを_____か。
…ええ、時々テニスをします。
- 6) この間のピカソの展覧会を_____か。
…ええ、見ましたよ。
- 7) 何時までに会社に来ればいいんですか。
…9時までです。でも、社長は8時半に_____よ。

* 答は編集後記の後にあります。



この3年間、コロナ感染のため、「サロンの集い」をはじめ、種々の交流活動の停止を余儀なくされましたが、今年度になってから、日本語教授法研修会Ⅰ・Ⅱや、勉強会や、生け花教室や、さらにバーベキューの集い等を復活させることができました。

11月には「国際ふれあい会」を実施することも決まっています。学習会のほかに、人と人が直接顔を合わせて交流を図る機会が増え、徐々にではありますが、サロンに活気が戻りつつあります。

来年度は4月から活動の場を「フチュール」に移すこととなりますが、それを機にバス研修会、日本語学習発表会等も復活させて、元気で楽しい「府中国際交流サロン」を目指したいと思います。皆さまのご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

(和田)

「日本語を誌上で学習しよう！」の答

- 1) 召し上がりました
- 2) おっしゃった
- 3) ご存じです
- 4) くださった
- 5) なさいます
- 6) ご覧になりました
- 7) いらっしやいます

【創刊】 1997年 11月

【編集】 編集長：和田泰弘
会報部会：堤 林・和田・岩城・末田

【事務局】 電話：042-352-4178
E-mail：mail@fuchukokusai.gr.jp
サロンのホームページ

<http://www.fuchukokusai.gr.jp>

